真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月13日

事務事業名	真岡駅子ども広場管理運営事業		担当課・係	健康福祉部　こども家庭課　子育て支援係
政策名　No	2	「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	1	子育て支援の充実		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	合計特殊出生率	―	1.09					1.54
	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	%	98.5					維持

事業内容

平成30年度に地域情報推進拠点機能が廃止となった情報センターの3階の一部を、真岡駅周辺の活性化、親子のふれあいの創出、子育て環境の充実を目的とした屋内型の子どもの遊び場として整備し、令和2年1月19日に真岡市初の屋内の子ども遊び場としてリニューアルオープンした。
指定管理者制度による運営（期間：令和2年1月1日～令和7年3月31日、指定管理者：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社）を行っていたが、複合交流拠点施設monacaの開館に伴い運営方法を見直し、令和7年度からはだれもが自由に遊べる「屋内公園」として市直営により管理している。

【子ども広場利用について】
・利用時間　　10：00～18：00（12時～13時は利用不可）
・休館日　　火曜日・年末年始（12/29～1/3）　火曜日が祝日の場合は翌平日が休館
・利用対象者　0歳～小学校2年生までのお子さんと保護者
・定員　　50名（土日は3クール制、1クール120分）
・利用料　　無料

（真岡駅子ども広場利用状況）
令和5年度末　39,439人（開館日数309日）、令和6年度末　41,467人（開館日数311日）、令和7年度末　27,819人（開館日数307日）

【研修室貸出】　研修室1　約40名　300円/1時間、研修室2　約25名　300円/1時間
令和7年度　市有施設における貸出会議室の運用を統一化を図り、研修室1・2の使用料を1時間当たり300円に変更
令和7年7月　研修室貸出のおける公共施設予約システムの運用開始

前年度の課題（Check）

令和7年度より施設管理が指定管理者から市となり、シルバー人材センター職員が駐在・管理することから、人員の規模縮小に伴い運営及び管理について十分検討する必要がある。

7年度振り返り

【1】実績（Do）7年度に実施した事業
・指定管理者から直営による真岡駅子ども広場の管理運営（建物管理に関する事務、清掃等保守点検の契約や支払い）
・運営マニュアルの作成及び見直し
・管理スタッフ（シルバー人材センター）への指導等
・研修室の貸出、学習室の貸出
・防犯カメラ設置
・前年度指定管理モニタリング業務
・団体利用の廃止
・公共施設予約システムの導入

【2】結果と課題（Check）
・シルバー人材センターへの業務委託により、管理運営にかかる費用を約3分の2に縮減した。
・屋内公園との位置づけになり、本施設においてイベント等を実施しなくなるため、利用者に対する満足度の低下を最小限に抑える必要がある。
・真岡駅舎自体が老朽化等により、計画的な修繕や施設の維持管理を行う必要である。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
・業務委託スタッフとの連携による安全安心な屋内こども広場の管理運営（通年）
・老朽化した施設のこまめな点検と計画的な修繕等維持管理（随時）

（2）長期的な計画で検討すること
　地方創生拠点整備交付金を活用した施設整備事業として、当面は令和10年までの運営が計画されている。monaca子育て支援センターがオープンした経緯もあり、遊具などの耐用年数を踏まえた施設の閉館やその後の利活用について検討する必要がある。